

会 議 議 事 録 (要 旨)

会議等の名称	令和4年度第1回磐田市子ども・子育て会議
担当部課名	こども部こども未来課
開催日時	令和4年10月13日(木) 14:00~16:00
開催場所	iプラザ2階 ふれあい交流室2.3
出席者	<p>出席委員(敬称略10人)</p> <p>山田悟史、鈴木敏弘、曾我由理子、高瀬慈子、松野裕貴、川島達也、瀬川真紀子、中原未歩、猪原裕子、小島凱</p> <p>事務局(11人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども部長 鈴木壮一郎 ・教育部 放課後児童支援室 室長 大石修次、主任 土井雅哉 ・こども部 幼稚園保育園課 課長 伊東直久、課長補佐 伊藤里香 運営支援G長 三谷昌史 こども未来課 課長 佐原直美、課長補佐 山下正輝 発達相談G長 青木明博、子育てサポートG長 和久田徹 こども・若者相談センター長 高杉順也 ひと・ほんの庭 にこっと 館長 兼子順子 総務・給付G 主査 影山正樹、副主任 吉武宏和
議 題	<p>(1) 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度進捗状況について</p> <p>(2) 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部幼稚園のプロポーザルについて ・ こども家庭庁について
配付資料等	<p>資料1 会議次第</p> <p>資料2 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度進捗状況について</p> <p>資料3 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しについて</p> <p>資料4 今後の事業推進の方向性について</p> <p>資料5 数値目標進捗管理シート</p> <p>こども家庭庁について</p>

1	開会	
2	委嘱状交付	委嘱状交付 委員、事務局 自己紹介
3	正副会長選任	会長 山田悟史委員、副会長 鈴木敏弘委員を選任
4	議題	議題1 第2期磐田市こども子育て支援事業計画、進捗状況について (資料2:第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度進捗状況について)
	会長	行動指針1について、事務局からの説明をお願いします。
	事務局 (こども未来課)	事務局説明
	会長	事務局からの説明について、御意見や御質問がありましたら、お願いいたします。
	委員	昨年まで、息子が磐田北幼稚園の年中でした。1クラス約35人で2クラスでしたが、今年は1クラス約25人で3クラスになり、先生の数も去年に比べて5人ぐらい増えて、とても余裕があるというか、ゆったりとした感じがあって、子ども達も落ちついているので、そこはありがたいなと感じています。
	委員	豊田南保育園の利用定員の減少について、これまでは待機児童対策として定員を増やす傾向にあったと思いますが、減らした理由を教えてください。今後想定される少子化や保育士不足等が影響しているのでしょうか。
	事務局 (幼稚園保育園課)	待機児童への対策を進めている現状では、定員を減らすことは、基本的に難しいと考えます。 利用定員を減らした豊田みなみ保育園については、受入れ可能な人数を上回る定員設定がなされており、実態と離れていたという特別な事情がある事案です。 今後の利用定員の考え方については、将来的には保育需要の高止まりが予測されますので、それぞれの園の実情に合わせて検討したいと考えています。
	会長	ありがとうございます。次に行動指針2の説明をお願いいたします。

事務局 (こども未来課) 会長	事務局説明 ありがとうございます。行動指針の内容について御意見や御質問がありましたら、お願いいたします。
委員	私の周りは幼稚園に通っている家が多く、午前中は働き、午後は子どもの送り迎えをしている。放課後児童クラブのことであるが、幼稚園のうちは1回500円で、2号認定になると無料になる。しかし、小学校に入ると利用回数に関わらず月額6,000円なので、利用料が高いため利用するのをやめた家庭も何件かあり、子どもが幼稚園の時には働けていた母親が、小学校になると働けなくなることが多い。夏休みに6,000円ならいいが、3月と4月の春休みに3回しか利用しないのに、6,000円というのは高い。
事務局 (放課後児童支援室)	利用料金については、委員から御指摘いただいたとおり、月額になっています。通常月だと月額6,300円ですが、春休みは月額3,150円になっています。現在は条例で月額固定になっておりますので、毎日使っている方は、応分のサービスを受けられると思うのですが、数日となると、少し割高かなというところは、事務局としても受け止めております。
委員	「地域の力を生かした子育て支援」ですが、小学校自体がコミュニティースクールということで、地域と保護者と先生たちでつくるという地域を巻き込んだ子ども達への教育ということで進めています。 磐田南小の場合、自治会の方々と地元のことについて話し合う機会が年に数回あります。それには我々も出席するのですが、地域を巻き込んだ子育てとなると、どうしても自治会の方との連携というのが、小学校も中学校も必要となります。こども未来課と自治会を担当している地域づくり応援課は、どのような連携をしていますか。
事務局 (こども未来課)	今年度から子育てサポートグループに母子保健専任の保健師を集約して、地区担当に分け、それぞれの家庭に母子手帳の交付から就学前まで、同じ保健師がその地区を担当して寄り添うという、寄り添い型支援を開始しました。各地区担当の保健師と地域づくり応援課、健康増進課の地区担当、社会福祉協議会の地区担当とも横の繋がりを持って、今後連携をしていきたいと考えております。
委員	実施状況に、「コロナ感染予防のため、地域の方との地域課題の共有が困難だったが個々のケースの対応を行った」と書いてあるが、どういう連携があったのでしょうか。

事務局 (こども未来課)	地区によっては、協議会の中に当グループの保健師も加わって、地域での子育てについての情報共有や協議をしております。今後もそういった機会が増えればと考えています。
会長	保健師がキーマンとなって関わっているという感じですか。
事務局 (こども未来課)	我々のグループでは、保健師が各家庭と関わりを持ってやっておりますので、保健師がその地域に入って、情報共有等をしているということになります。
委員	私はファミリーサポートセンターを利用したことがあるのですが、援助会員が不足していることが課題であることに対して、どのようなアプローチをしていくのか教えてください。
事務局 (こども未来課)	急患センターにある子育て支援センターのびのびに委託をしている事業ですが、その委託業者とこども未来課で各交流センターを回り、援助会員の掘り起こしをしている最中でございます。そのようにいろいろなところに話をしながら、援助会員を増やしていきたいと考えております。
委員	妻から聞いた話なのですが、乳児がゲップした後もそのままミルクが垂れて、そのまま拭かれることもなかったとのことでした。育児サポーターも人員不足なのではないかと思えます。 育児サポーターのほうはボランティアですか。そのサポートしていただく方も、教育といったら大げさかもしれないのですが、そういうのも必要なのかなと思いました。 育児サポーターの研修制度はありますか。
事務局 (こども未来課)	育児サポーターは、ボランティアではなく、市の会計年度任用職員4名で行っている事業です。子育ての関係の研修も行っています。 委員がおっしゃられたことにつきましては、職員に確認をさせていただければと思います。研修は随時行っていきたいと考えています。
委員	ありがとうございます。 東部幼稚園のところで建築費が3割増えたので改築をやめた話がありましたが、私は子育てアプリを使ったことがありませんが、そこに無駄なお金を遣うことはやめた方がいいと思っています。アプリ登録者が3,267人いるということですが、毎月どの程度の利用者がいて、子育て世帯のためにどのように有意義に使われているのかというのが、ここだけでは分

	かりません。
事務局 (こども未来課)	昨年来、コロナの関係で子育ての相談や情報を人から聞くことが出来ませんでした。登録者数は、昨年と比べると増えています。
委員	年間利用延べ人数のカウント方法も教えてください。
事務局 (こども未来課) 会長	確認して、お答えします。 行動指針3の説明をお願いします。
事務局 (こども未来課) 会長	事務局説明 ありがとうございます。御質問、御意見はありますか。
会長	これは親と子どもの健康保持増進ということなのですが、父親へのアプローチは実施していますか。
事務局 (こども未来課)	現在のところ、父親にスポットを当てた事業はありません。ただ、育児はお母さんだけでやっているものではないため、その必要性というところは感じており、これから協議をしていかなければいけないと思っています。
事務局 (にこっと)	補足ですが、ひと・ほんの庭にこっとで、父親向けの講座を年に何回かやっております。今度も企画しておりますが、心理士による父親向けの講習会や男性保育士による父親と子どもの関わり方の教室のようなものを行っています。短時間の教室ですが、父親の子育てを支援することを目的に実施しています。
会長	ありがとうございました。行動指針4の内容について、説明をお願いいたします。
事務局 (こども未来課) 会長	事務局説明 行動指針4について、御意見・御質問ありましたらお願いいたします。
委員	児童虐待防止の啓発活動のことで質問ですが、資料に平成26年から平成30年度までの虐待の数が記載されていますが、直近4年間の状況を教

事務局 (こども・若者相談センター)	<p>えてください。</p> <p>また、地域づくり応援課で審議会があったのですが、例えばDV防止のポスターをコンビニのトイレに貼る活動をしているようですが、警察との連携はどうなっていますか。</p> <p>直近の活動状況の資料を持っていないので、少し時間をいただきたいと思います。予防の啓発活動については、11月が児童虐待防止月間となっているので、チラシを駅で配布したり、キャンペーン月間を設定したりしましたが、コロナ渦のため数年間活動を行えていません。それに代わるものとして、学校で子ども達や保護者に向けてチラシを配布したり、3歳児の保護者に対して児童虐待の啓発をしたり、啓発物品を配布したりしています。</p> <p>今年度は、11月に小・中学校の保護者向けと児童向けのチラシを配布して、児童虐待等に関するチラシを配布させていただきます。</p> <p>また、昨年11月に本庁のロビーに児童虐待の防止とDV防止、里親募集を地域づくり応援課、こども・若者相談センター、児童相談所と協力して掲示しました。今年度も計画をしております。</p> <p>昨年度には約1週間、今之浦公園のステージをオレンジ色にライトアップしました。11月のDVの女性週間では、地域づくり応援課が紫にライトアップしました。</p>
会長	<p>それでは、次に、行動指針5の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (こども未来課)	<p>事務局説明</p>
会長	<p>ありがとうございます。行動指針5について御意見や御質問はありますか。</p>
委員	<p>小中一貫教育の充実ですが、園長と話した時、研修を幼・小・中で実施するところと、小・中学校だけで実施するところがあるそうで、城山中学校区の研修は、小・中学校だけでやっているそうです。今の実態どうなのか教えてください。</p>
部長	<p>学校教育課が来ておりませんので、私の知識の中でお答えします。磐田の教育は全て学府単位(中学校区単位)で行っており、学府に任されていると私は認識しています。</p> <p>例えば、豊岡地区では幼稚園の時期から英語に特化した教育を組み立てています。</p>

	<p>それが、幼・小・中学校がいいのか、小・中学校がいいのかというところは、各地域の皆さんに声を上げていただければと思います。</p> <p>こども部では、小学校から中学校への繋ぎではなく、幼稚園から小学校への繋ぎに力を入れていきたいと思っています。なぜなら、4、5歳から小学校1・2年生ぐらいまでの4年間に、成長やアプローチを教育の中では、歳児別にプログラミングされています。そのため、幼稚園までしっかりやったのに小学校に入ると切れてしまうことが、小一プロブレムや不登校へ繋がっていました。</p> <p>今、私がここで名言することはできませんが、目指すところとしては、学府で幼・少・中学校で繋いでいくということをイメージでやっていきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。私たちの経験でいうと、幼・小・中学校でやる時も、小・中学校で会議やる時も、幼・小学校で会議をやる時もあるとは思いますが、学府単位で動いていることはよく分かりました。ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。</p> <p>次に行動指針6の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (こども未来課) 会長</p>	<p>事務局説明</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>行動指針6についての御意見・御質問、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>個人的な意見ですが、今之浦公園とか安久路公園は、小さな子に向けた公園になったというイメージがあります。昔の安久路公園や今之浦公園は、小学生が遊べる公園でしたが、今は、もっと小さい子ども向けになっていて、小学生が長い時間楽しく遊べる遊具が減ってしまったことが少し残念に思っています。</p>
<p>事務局 (こども未来課)</p>	<p>公園の担当が、都市整備課なので、そのような意見もあったことを伝えるようにします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。私は小学校3年生の娘がいるのですが、幼児も小学生も一緒に遊んでいる環境では危ないということもありますので、公園整備の難しいところではありますが、そのような場所があると小学生にもいいですね。</p> <p>ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。行動指針7の説明をお願いいたします。</p>

<p>事務局 (こども未来課) 会長</p>	<p>事務局説明</p> <p>ありがとうございます。行動指針7の内容について、御意見・御質問がありますか。</p> <p>私から、施策1について、ひと・ほんの庭にこっとで毎週水曜日に出張ハローワークを開催したことについての効果や市民からの評判等について教えてください。</p>
<p>事務局 (にこっと)</p>	<p>にこっとハローワークは大変好評で、求職中の母親が、子どもを連れて相談に来られるということで、ハローワークに行くのは敷居が高いが、にこっとなら開放的で、子連れで相談に来られるということで、大変好評をいただいております。去年は124件ご相談いただきまして、実際に求職中の方が就職をされたという実績も出ておりますので、今後も引き続き、子育て中の母親の就労支援にも、力を入れていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>ワークライフバランスの定着の促進で、企業等への啓発活動と書いてありますが、私も商工会議所西部に所属しているので、どういう呼びかけを行ってきたのか教えてください。</p>
<p>事務局 (こども未来課)</p>	<p>お答えできる範囲でお答えします。</p> <p>昨年度、市長がイクボス宣言をして、まずは市の職員からということで、研修会等もしましたが、今後、地域の企業や地域住民の皆様にも、啓発をしていかなければいけないというような考えでいると思います。現在のところはまだ働きかけの実施には至っていないかもしれませんが、商工会議所や商工会などと御協力していく必要があると考えています。</p>
<p>事務局 (こども・若者相談センター)</p>	<p>先ほどの質問にお答えします。児童虐待の状況をということでしたが、令和元年につきましては、合計で74件、令和2年につきましては70件、令和3年につきましては77件となっております。こちらにつきましては、平成30年に東京都と他県の情報連携が出来ていなかったことが原因で亡くなった子どもがいて、そこをメディア等で報道されたため、児童虐待にスポットが当たったことが一つ、令和2年に児童虐待に対する通告について、少しでも暴力があった場合でも通報するよう、それを見かけた方も通告するようということが法律に位置づけられました。あとは、夫婦間のDVを子どもが見ていた場合、心理的虐待に当たると決められておりまして、警察から児童相談所への通告というのも増えているため件数が増加しているというような背景があります。</p>

(2) 議題 2	<p>第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて (資料 3 第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しについて) (資料 4 今後の事業推進の方向性について) (資料 5 数値目標進捗管理シート)</p>
会長	<p>議題 2「第二期磐田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (こども未来課)	事務局説明
会長	<p>ただいまの説明につきまして御意見・御質問がありましたらお願いいたします。</p>
部長	<p>私がこの計画作ったのですが、今の説明を聞いても分からないことが多かったのではないかと推測します。</p> <p>例えば、今回の数値目標も想定されていなかった新型コロナの影響や、当初計画していたことが国の制度改正によって変更が必要となったことなどの理由により、その達成状況は様々です。それ以外にも、例えば本来はこの目標を達成したかったが、こういった理由により達成出来なかったものもあります。</p> <p>一例を挙げれば、私立幼稚園が市立の幼稚園になりましたという説明をしましたが、今まで私立幼稚園は、自分たちで保育料を取って運営方針を決め、その運営方針、教育方法に魅力を感じた方が、市の保育、幼稚園よりも高いお金を払って入園していたのですが、国の制度が変わり、国と市が支援し、国と市が決めた保育料を取るような仕組みに大きく変わったために 2 園がなくなりました。この様に国の制度改正や市の制度が変わったことによって数値目標を見直さないといけないものは、お許しをいただきたいと思います。</p> <p>しかし、市の怠慢で目標を大きく下回ったものについては、こういう改善策を講じて数値を変えますという説明をしないとご理解いただけないと思うので、今日のところはこの数字を受け止めていただき、皆さんに対しては、もう一度検討した内容を改めて説明いたします。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>承知いたしました。では、委員の皆様はこの資料を見て、この資料の見方に慣れておいていただくということぐらいで、今回はお願いをいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事協議を終了させていただきます。限られ</p>

	<p>た時間の中、皆様から貴重な御意見をいただきました。また、会議の進行に御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、進行を事務局にお返しいたします。よろしく願いいたします。</p>
5 その他	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他といたしまして、東部幼稚園のプロポーザルにつきまして、幼稚園保育園課長から説明をさせていただきます。</p>
事務局 (幼稚園保育園課)	<p>(1) 東部幼稚園のプロポーザルについて</p> <p>東部幼稚園のプロポーザルに関する事ということで、会議冒頭に子ども部長から、建築材料費の高騰等の影響があり計画を断念したというお話をさせていただきましたが、今後の流れについて説明します。まず、この夏前に聖隷福祉事業団さんからお話があり、再び9月にプロポーザルの公募をかけていました。しかし、残念ながら手を挙げてくださる学校法人や社会福祉法人がございませんでした。多少募集要項の文言等は見直しをさせていただこうと思っておりますが、11月にまた改めて公募していきたいと考えております。委員の皆様は何度やってもどうなんだというような疑問ももちろん感じられるのではないのかと思っておりますが、先月だと手を挙げられなかったが、今月なら手を挙げられる。あるいは、知っていればエントリーしたかったけれども知らなかったからエントリーできなかったといったことは多々あるかと思っております。できるだけ多くの社会福祉法人の耳に届くように情報提供していきたいと考えています。今月に入ってから、お問合せをいただいた法人もあり、令和7年4月の開園を目標に取り組んでいきたいと考えているところでございます。説明は以上です。</p>
事務局 (子ども未来課)	<p>この件につきまして何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。続きまして、子ども家庭庁の関係について説明させていただきます。</p>
事務局 (子ども未来課)	<p>(2) 子ども家庭庁について</p> <p>内閣官房のホームページより抜粋した資料を説明</p>
事務局 (子ども未来課)	<p>説明が分かりづらいところもあったかもしれませんが、何か御質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。最後に1点事務連絡させていただきます。第2回目の会議ですが、12月中旬に開催を予定しています。</p> <p>具体的に決まりましたら、御連絡を差し上げたいと思います。</p> <p>それから、本日課題になったところにつきましては、準備が整い次第、</p>

郵便等々で、御連絡差し上げたいと思っておりますので、よろしくお願い
いたします。

以上をもちまして、本年度第1回目の磐田市こども子育て会議を終了
いたします。

本日はありがとうございました。